

◆団体基本情報

No.	20	種別	公益財団法人	団体名	公益財団法人仙台市公園緑地協会		
所在地	〒983-0842 仙台市宮城野区五輪一丁目3-35						
電話番号	022-293-3583		FAX番号	022-293-3605		所管 部局	建設局
団体ホームページ	http://sendai-green-association.jp					百年の杜推進課	
代表者職氏名	理事長 千葉 幸喜			設立年月日	昭和42年10月7日		
基本財産等	118,000 千円		市の出捐額(割合)	59,000 千円 (50.0 %)			
設立目的	都市緑化及び公園緑地等に関する事業を通じて、市民生活に安らぎと潤いをもたらし、あわせて緑の文化を発信する。						
事業概要	都市緑化及び公園緑地等に関する普及啓発、利用促進。 公益目的事業の推進に資するための収益事業等。						
評価対象決算期	令和6年4月1日～令和7年3月31日						

◆人員等の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①常勤役員数	2 人	2 人	3 人
うち市派遣	0 人	0 人	1 人
市退職者	2 人	2 人	2 人
②常勤役員平均年齢	62.0 歳	61.0 歳	62.0 歳
③常勤役員平均年間報酬	5,845 千円	5,914 千円	5,928 千円
④職員数	140 人	139 人	137 人
うち市派遣	0 人	0 人	1 人
市退職者	10 人	9 人	7 人
⑤職員平均年齢	55.4 歳	55.5 歳	55.6 歳
⑥職員平均年間給与	3,187 千円	3,204 千円	3,383 千円

◆主要財務データ

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①当期経常増減額	8,928 千円	1,212 千円	4,473 千円
②当期経常外増減額	△ 49 千円	0 千円	△ 726 千円
③当期一般正味財産増減額	8,607 千円	940 千円	3,475 千円
④一般正味財産期末残高	124,206 千円	125,146 千円	128,621 千円
⑤指定正味財産期末残高	59,000 千円	59,000 千円	59,000 千円
⑥正味財産期末残高	183,206 千円	184,146 千円	187,621 千円
⑦長期借入金残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆市の財政的関与

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①市からの補助金	14,528 千円	13,598 千円	14,131 千円
②市からの委託料(指定管理料含む)	1,174,103 千円	1,197,362 千円	1,252,873 千円
③市に対する収入依存度	77.34 %	77.16 %	77.06 %
④市からの借入金	0 千円	0 千円	0 千円
⑤市からの債務保証に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円
⑥市からの損失補償に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和6年度事業費
緑化普及啓発事業	花壇づくり助成事業，緑化コンクール事業，記念樹交付事業	45,103 千円
公園緑地等運営事業	野草園，太白山自然観察の森，青葉の森緑地，七北田公園及び各区運動施設公園等の管理運営	738,707 千円
墓園・斎場運営事業	葛岡墓園，北山霊園，いずみ墓園及び葛岡斎場の管理運営	468,758 千円
収益事業	八木山動物公園等における売店，食堂，駐車場の管理運営	374,155 千円

◆経営評価の総括

項目	外郭団体による総括	所管局によるコメント
1. 公益的使命・市が期待する役割への対応	<p>新たに策定した第5次中期経営計画に位置付けた重点事業（20事業）について，成果指標に基づき，進行管理を行いながら，「緑溢れる住みよいまちづくり」の実現に資するよう，都市緑化の推進と緑化普及啓発事業等を着実に展開した。各種コンクールの実施や，みどりに関する情報発信を通じた緑化普及啓発事業に加え，野草園での「萩まつり」，青葉の森緑地における自然遊び・生きもの観察イベントなど，市民参加型の取り組みを積極的に実施した。</p> <p>また，斎場・墓園では，厳粛な雰囲気を保ちつつ，会葬や墓参に訪れる方々の心情に配慮した丁寧な管理運営を行い，公共施設としての役割を適切に果たした。</p>	<p>全所管施設・イベントごとのアンケート調査など，ニーズ把握・分析を業務に活かすとともに，SNSを活用した発信など創意工夫を行いながら各種講座やイベントを実施するなど緑の普及・啓発，利用満足度向上に向け積極的に取り組んだ。引き続き次年度以降の活動の充実に期待する。</p>
2. 業務・組織管理	<p>協会の組織・財務強化を図ることを目的として策定した第5次中期経営計画に基づき業務を行った。正職員の採用にあたっては，年齢構成や業務経験のバランスを考慮し，社会人経験者を採用することで，組織の活性化と即戦力の確保に努めた。また，法令順守の徹底に向け，令和6年4月に「内部通報規程」を策定し，不正防止やコンプライアンス意識の向上を図るなど，組織管理体制の整備と強化に努めた。</p>	<p>第5次中期経営計画に基づき，安定した運営が行われている。引き続き適切な業務体制の維持やコンプライアンス強化を継続するとともに，積極的な先進地視察や表彰制度の活用など，職員の資質やモチベーション向上に取り組み良好な組織風土の醸成に努められたい。</p>
3. 財務状況	<p>令和6年度は，指定管理事業において経費節減に努めた結果，若干ではあるが資産（内部留保）の増額があった。</p> <p>収益事業では，安定した利益確保のため原価率を精査し販売価格の見直しを行った。</p>	<p>物品調達における見積もり合わせに際し，インターネット価格等の採用や，物価高騰にあわせ販売価格を見直すなど，コスト低減や利益確保のための工夫がみられた。</p> <p>今後も自主財源の確保や効率的な事業実施など，より安定した経営に期待する。</p>
4. 今後の方向性及び課題	<p>公園緑地等に関わる公益財団法人として，行政と市民をつなぐ役割を果たしながら，質の高い市民サービスを提供し，緑溢れる住みよいまちづくりに貢献していく。</p> <p>あわせて，収益事業の効率化と経営基盤の安定化を進め，得られた収益を公益事業の充実に還元することで，団体の存在価値を高めていく。また，職員の専門性向上や人材育成に取り組むとともに，特定費用準備資金の確保・活用を含めた中長期的な財務計画の検討が今後の課題である。</p>	<p>今後もみどりに関わる公益財団法人としての独自性，優位性を認識し，これを十分に発揮しながら，より利用者の満足度につながる事業改善や，収益の向上，自主事業の取組みに積極的に努め，あわせて職員の能力向上や管理職への積極登用など管理運営体制の充実に継続して努められたい。</p>